

こころのふれあいを何よりも大切に



医療法人 厚生会
道ノ尾病院会報

2016 Vol.17

Shinsei

2016年2月19日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院 「新星」Shinsei編集部

〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号

TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

新星

題字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
- 3 各部署から新年のご挨拶
- 4 内科医のご紹介
- 5 行動制限最小化委員会研修
- 6 精神科をはじめて受診される方へご案内/地域包括支援センター
- 7 地域連携勉強会/デイケア年末年始の活動と出初式
- 8 れいんぼうハウスクリスマスパティー/自衛消防大会

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

平成28年、新年にあたって 理事長 松本 純隆



新しい年を迎えるにあたって皆様にご挨拶させていただきます。

旧年中は皆様方に格別のご支援をいただきありがとうございます。平成27年を振り返りますと道ノ尾病院としては11月後半からのノロウイルスによる集団感染を起こしたことが反省材料として挙げられます。多くの方に嘔吐、下痢といった症状がみられました。幸い皆様軽症で、10日ほどで終息しました。特に食事に関する対策で、加熱処理をした物だけの提供などで、入院患者様に多大なご迷惑をおかけしました。

面会制限をするなどご家族の皆様方にもご心配をかけ、申し訳なく思っています。皆様方に不安を与えたことを心からお詫び申し上げますと共に、二度と同様の感染が起こらないように長崎市保健所の指導の下、感染マニュアルに修正などを行なっているところです。

新年である平成28年ですが自民党安倍政権のもと、4月に診療報酬改定が行われる予定です。いろいろな情報によると薬価のマイナス1.4%削減、手技料の若干のアップとなるようですが、基本はマイナス改定となるようです。今回は精神科分野には大きな影響はないと希望的憶測があるようですが、道ノ尾病院においても、人口減となる長崎県で医療・福祉・介護のサービスの見直しが急速に進むことが予想されることからいろいろな取り組みをしないとといけません。どのような内容になるにしろ、地域の皆様が必要とされる急性期病院として成り立つよう全スタッフと共に頑張る所存であります。

平成28年も昨年同様、多くの皆様のご利用とご意見をいただくことをお願いして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成28年を迎えるにあたり 院長 松本 一隆

平成28年を迎えるに当たり、旧年中の皆様への御礼とともに、新年のご挨拶をさせていただきます。昨年を振り返りますと、様々な出来事がありました。その中でも、11月に院内で発生したノロウイルスによる集団感染は、患者様、職員合わせて170名余りが発生し、患者様及び、御家族、地域の方々には多大なご迷惑をおかけしました。病院という患者様が治療、療養する場でこのような事故が起こることは決してあってはならないことであり、改めて病院の感染に対するリスク管理の甘さを痛感致しました。幸い各部署の職員の事故後の対応、患者様、御家族の方々の御理解、御協力もありまして、重症化する方がおられなかったことは幸いであります。今後は、この事故を教訓に職員へは高いレベルでの感染予防の意識、教育を行っていき、安心して治療できる環境を作っていきたいと思います。

当院は、ベッド数785床の精神科単科の民間病院で、祖父が昭和35年に病院を創設し55年になります。その間多くの患者様、職員、地域の皆様方の支えがあり、現在に至っております。患者様の年齢も高齢化し、今後長崎市も超高齢化都市となり、当院も数年前より認知症の患者様を積極的に受け入れることとなりました。その結果、このところの新患で受診される方は、認知症を含む高齢者が3~4割前後を占め、その他は気分障害圏内、不安障害、あるいはアルコール関連障害

の方々が7~8割を占めるようになりました。入院患者様も前記疾患の割合が増加しています。今後、当院の地域での役割としては、従来よりの統合失調症の治療だけでなく前記疾患の治療環境を整えること、医師を含めた治療スタッフのレベルアップ、在宅医療中心になっていく今後に備えて、院外住居（敷地内も含め）、スタッフの確保など体制作りが不可欠だと思います。

そして、最近特に感じますことは、患者様に接する治療スタッフの心のレベルの向上だと感じております。患者様と治療者は同じ人間であり、心を痛め、悩みを持ってこられる方への人としての優しい心がないと治療者は務まりません。私を含め、職員の人格的成長は、何よりも病院の力になり、患者様の心の支えになるものと思っております。今後病院職員一同、日々精進していけるよう努力をしていく所存であります。

今後とも皆様のご支援、御指導の程宜しくお願い致します。



各部署から新年のごあいさつ

- ①部署のセールスポイントは？
- ②今後の目標は？
- ③好きな言葉を教えてください



申



岩崎 久美子

訪問リハビリテーション
相談支援事業所
ヘルパーステーション

にじいろ

- ①とにかく明るい、利用者に心底親身になる。
- ②にじいろさんが来ると楽しくなる、嬉しいと言ってもらえるような事業所を目指す。
- ③なせば成る、なさねば成らぬ何事もならぬは人の成さぬなりけり。



森 茂仁

宿泊型自立訓練事業所
就労支援事業所
ワークステーション

ふれあい かいこう

- ①やる気 元気 根気のトリプルスリー
- ②利用者総活躍の職場作り
- ③平常心



長畑 葉子

栄養課

- ①笑顔の絶えない職場
- ②第1に衛生管理の徹底 第2に見た目もきれいな美味しい食事の提供
- ③思いやり



上村 真紀

リハビリテーション科

- ①創造力、企画力、実行力に優れた人材がそろっています。
- ②「地域貢献」。道ノ尾病院のよさを地域の方に知っていただきたい。
- ③「下剋上」。若い世代の方には、良いと言われること、新しいことをどんどん創造して多くの方とともにチャレンジしていただき、将来輝いてほしいです。



川口 敦子

保育室

- ①抜群のチームワークとお子さま方への愛情
- ②気になるお子さまへの対応とスキルアップ・保護者支援
- ③成るように成る



蒲池 美保

臨床心理

- ①「少人数なので、それぞれの持ち味を活かして活動しています」
- ②「[ぼちぼちいきましよう]」
- ③「10円玉は丸くて四角い」
注:丸い十円玉も横から見ると四角いでしょ。いろいろな見方をしてみると違った景色が見えますよって意味です。



土井 健志

薬局

- ①「おもいやり調剤」をモットーとし、患者さんからののおくすりへの疑問などやさしくいねいに説明するよう心がけています。
- ②おくすりを正しく使ってもらうため患者さん、医療スタッフにさまざまな働きかけをしていきたいと考えています。
- ③「笑顔」…患者さんの何気ない笑顔が医療スタッフの明日への「活力」になります。



尾崎 剛

事務

- ①病院の受付、電話など病院の顔といえる部署ですから、「笑顔」です。
- ②事務所の全員がいつも「笑顔」で対応できるように心がけたいです。
- ③「笑顔」と「責任感」ですね。



赤間 真三

歯科

- ①痛くなく、早く、丁寧、親切 をモットーにしています。
- ②おいしい食事ができるように
- ③夢はかなう 明日は明日の風がふく



向井 由紀枝

訪問看護ステーション すみ香

- ①利用者ニーズに応じた、きめ細かなサービスを心掛けています。
- ②利用者おひとりおひとりの支援を丁寧に行っていきたいと思っています。
- ③一期一会



宮脇 達郎

サービス付き 高齢者向け住宅 れいんぼうハウス滑石

- ①「おもいやり」「やさしさ」をモットーに入居者の方にご対応しています。
- ②入居者に対する細かいサービスを届けたい。「れいんぼうハウス滑石に入居して良かった」と言われるように。
- ③POWER(パワー)



吉崎 英之

看護部

- ①いつも患者さんのそばにいます。
- ②もっと患者さんに笑顔になってもらえるように…。
- ③継続は力なり。



内科医

加来良夫

昨年10月より内科医として勤務をはじめた加来良夫と申します。母方の祖父の実家があった長崎で生まれ、佐世保で育ちました。1995年、医師国家試験に合格後、福岡県筑紫野市にある福岡大学筑紫病院で研修を開始しました。福岡大学筑紫病院は現在では立派な建物になり、JR沿線にあるため二日市駅を通過する前後に車窓から見られた方もおられると思います。

1年間東京での修行も含め、内科と消化器を中心に研修を積み重ねました。その後、糖尿病と呼吸器を中心に活動する内科に入局、その間も消化器系の検査のトレーニングもおこないながら、糖尿病と内分泌の専門医の習得をおこないました。耳学問であやふやな知識や技術も多いですが、よく言えば専門に固執せずのびのびと仕事をしてきました。

その後、佐世保の個人病院に勤務後、当院に勤務するまで北九州の手前にある遠賀郡芦屋町の芦屋中央病院で

約9年間一般内科医として勤務してきました。

今回、妻(築城壇先生の長女)の実家近くで勤務することを考え、学生時代から院長先生を存じあげていた事から話が上手く運び、道ノ尾病院にお世話になることになりました。

精神科での内科勤務は非常勤では経験ありましたが、これだけ大規模な病院は経験がなく、色々と戸惑うことが多い毎日です。しかしながら、芹田副院長先生はじめ内科系の先生ばかりでなく医局の先生方には色々とお声をかけていただき、大変良いスタートを切ることができていると感じております。今後は少しでも専門性を出しつつ、出来るだけ広い範囲で内科全般を診療できればと考えております。

若輩者でどこまでお手伝いできるかわかりませんが、この大病院の歯車の1つとして関わっていけるよう努力していきます。皆様よろしく願いたします。

行動制限最小化委員会研修

「人権尊重社会の実現を目指して」



長崎県人権・同和対策課 教育研修班 岩川 克行さん、稲本 信也さん

当委員会では、年2回以上の研修会を開催しており平成27年度は前半を「法律」、後半は「人権」をテーマに研修会を実施しました。精神科看護、特に行動制限最小化領域においては倫理観や患者に対する人権意識が重要と考えられています。

長崎県の職員に来て頂いて全2回「人権」についてのお話やグループワークをして頂きました。医療関係でこのような研修会を企画するところは初めてのことで道ノ尾病院の先駆的な取り組みを高く評価して頂きました。

参加者からは「改めて人権を考えさせられて、今後の仕事に活かせればと思います」「人権について久しぶりに考え、人権について考える時間や研

修が必要だと感じた。人権が何かと言うことが学べた」「患者様ひとりひとりの人権を常に頭において行動していきたいと思った」「医療に従事する者として患者さんに対しての人権が守れるように配慮していきたい」「精神科看護に活かしたい」「職場のモラル改善に効果を上げられたら」等の熱心な感想が寄せられました。

私たち医業に関わる者は「特定職業従事者」としてより人権意識を高く持ちながら業務に当たっていきたいと思います。また、委員会としても今後とも質の高い研修会の開催を目指したいと思います。



精神科をはじめて受診される方へご案内

かかりつけの病院があるかたは 紹介状（診療情報提供書）・おくすり手帳の持参をお願いしています。受診は予約制となっておりますので「地域連携室」にお電話頂き予約を取ってください。地域連携室の担当が以下のようなことをお尋ねします。

- ・どのような症状で、いつからお困りですか？
- ・受診を希望する日時（曜日・時間）はありますか？
- ・入院を希望していますか？ 等



火（竹村）
木（北村）
金（芹田）

診療時間

平日（午前）9時～12時 / （午後）13時半～17時
（受付時間 9時～11時 / 13時～15時半）
休診日 土曜午後・日祝祭日

もの忘れ外来を希望される方へ

診療日：火・木・金 午後から
診察以外に、必要に応じて検査等もあり終了までに3時間ほどお時間を頂く場合がありますのでご了承ください。

精神科
新患当番医

	月	火	水	木	金	土
午前	深澤	楠本	山田	大坪	永田	週担当医
午後	佐田	立木	岡崎		大坪	休診

地域包括支援センターと連携をしています！



当院の精神保健福祉士（以下PSW）は、近隣の地域包括支援センターと連携強化を図っております。その活動を少し紹介させていただきます。

写真は岩屋地区地域包括支援センターが主催する、岩屋地域医療介護ネットワーク会議に参加させて頂いたものです。色々な立場のかたからお話を聞くことで精神科病院のPSWとして地域に貢献できること、課題等を考えることができました。その他にも岩屋地域介護連携会議・認知症サポートリーダーの集いにも参加させて頂いております。

また、滑石・横尾地域包括支援センターが主催する地区連絡会に参加しました。関連機関等が集まり、高齢者が地域で安心して生活できるように意見交換を行う会です。

今回は「平成26年度医療保険制度改正」をテーマに当院からは、精神保健福祉法の改正に伴う医療保護入院制度の変更点についてPSWがお話させて頂きました。

このように、今後も定期的に参加し、地域の方々と顔の見える関係を築き、多くの関連機関と連携を深めて地域に根ざした活動を行っていきたいと思います。



地域連携室勉強会

第40回

「そうだったのか!社協の学べる福祉!?教科書では学べない 「生活困窮者自立支援法」と「コミュニケーション法」



社会福祉協議会 (社会福祉士) 田中 信さん

「生活困窮者自立支援事業」についてケース紹介をまじえて分かりやすくお話をして頂きました。感想としては、『制度の大まかな理解と事例を用いて、どのような制度であるかのイメージがしやすく、今後に活かしたいと思いました。また、グループワークも楽しみながら、コミュニケーションの面白さと難しさを学ぶ事ができました』という声を頂きました。

第41回

「楽しく勉強会をつくるレシピ~地域連携室勉強会の5年間を振り返って~」 (最終回)

道ノ尾病院 (精神保健福祉士) 西首 瑞穂・道越 愛子・吉岡 礼子



平成22年7月に立ち上げた当勉強会ですが、この度最終回を迎えました。立ち上げた当初は、小さな勉強会でしたが回を重ねるごとに多くの関連機関や事業所の方が集まり、41回目までの参加人数は計839名、後半2年は常時平均60名の参加を頂けるような大きな勉強会へと成長させて頂きました。「顔がみえる関係ができる」「地域づくりに貢献している」という声もたくさん頂きました。

参加して下さい下さった多くの方や、支えて下さった院内のスタッフに心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。



後日談

終了後も多くの関連機関から温かい声が相次ぎました。「この勉強会の志を継いだ新しい勉強会を運営したい」という声があり今後については、誌上にてご紹介していきたいと思えます。

デイケア年末年始の活動と出初式

デイケア門松

エコガーデニングのメンバーで門松の作成を初めて行いました。畑作業を行いながら、時間をとってメンバー・スタッフで協力しながら作りました。



書初め

毎年行っている書初めです。思い思いの文字を書いてもらっています。

出初式

道ノ尾病院自衛消防で、出初式を見に行きました。



もちつき

年末恒例のARP(アルコール・リハビリテーションプログラム)餅つき大会が平成27年12月25日(金)にアルコールデイケアで行われました。餅つき大会当日は、朝の冷え込みは厳しかったものの、穏やかな天気に恵まれ、参加スタッフ、アルコールデイケア利用者様、患者様の動きも軽快でした。天気に恵まれたこともあり、餅つきや餅丸めに参加される利用者も多くみられました。理事長、管理局長が杵で餅をつくときには「ヨイショ、ヨイショ」と掛け声もあり大いに盛り上がりました。利用者の希望もあり、餡餅・白餅のどちらも試食できるようにし「どちらもおいしかった」、「楽しかった」という声をきくことができ嬉しく思いました。餅つき大会をもって平成27年のプログラムは終了しましたが、今後も利用者様に喜んでいただけるような企画・運営をしていきたいと思えます。





れいんぼうハウスクリスマスパティー

12/26、近隣の老人会の皆様等をお迎えし「2日遅れのクリスマスパーティー」を行いました。

午前中は餅つき大会、大賑わいで普段は歩行器を使用している方も杵をかかえてヨッコラショ！ 拍手喝采です。

午後からは、ビュッフェスタイルでのフランス料理、お寿司、お刺身などもありテーブルの前は大混雑、「美味しい～」という一言に一安心。

楽器の演奏、カラオケ、クイズなど楽しいひと時を過ごしました。

終わった後で、「あ～楽しかった。」「またお願いします」など、喜びの声でいっぱいでした。



2015年
10月20日

自衛消防大会



道ノ尾病院から男女各々のチームで消防大会に参加しました。
大会に向けて練習に励み、チームワークで男女ともに奮闘しました。

防災訓練を行うことが大切であることを改めて感じる機会になりました。職場でも防災の準備を行ない、いざという時に動けるようにしていきたいです。



【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<http://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



道ノ尾病院携帯サイトはこちらから

お手持ちの携帯のバーコードリーダーより左画像を読み取ってください。
お気に入りへの追加もお願い致します。

バーコードリーダーが無い場合は下記アドレスを直接入力してください。
<http://www.michinoo-m.com>

交通アクセス



長崎バス「虹が丘」行き 工業高校前バス停から約5分